

Racing Topics

★中央競馬ニュース 文・谷川善久★

●川田将雅騎手がJRA通算1700勝を達成

1月22日(土)の1回中京7日・第8レースではフォルテデイマルミが1着となり、同馬に騎乗した川田将雅騎手(栗東・フリー)は、史上13人目、現役では6人目となるJRA通算1700勝(1万1104戦目)を達成しました。

●斎藤誠調教師がJRA通算400勝を達成

1月22日(土)の1回中山7日・第4レースではジョイスが1着となり、同馬を管理する斎藤誠調教師(美浦)は、現役45人目となるJRA通算400勝(延べ4873頭目)を達成しました。

●グランアレグリア、クロノジェネシスらの競走馬登録抹消

2020年・2021年のマイルチャンピオンシップ(G I)連覇などG Iで6勝をあげたグランアレグリア(牝5歳/美浦・藤沢和雄厩舎/JRA通算15戦9勝)、2020年・2021年の宝塚記念(G I)連覇など、G I・4勝のクロノジェネシス(牝5歳/栗東・斎藤崇史厩舎/JRA通算15戦8勝・海外2戦0勝)、2021年高松宮記念(G I)などの勝ち馬ダノスマッシュ(牡6歳/栗東・安田隆行厩舎/JRA通算22戦10勝・海外4戦1勝)、2021年京都牝馬S(G III)などの勝ち馬イベリス(牝5歳/栗東・角田晃一厩舎/JRA通算22戦4勝)、2020年京阪杯(G III)などの勝ち馬フィアーノロマーノ(牡7歳/栗東・高野友和厩舎/JRA通算20戦7勝)、2020年阪急杯(G III)の勝ち馬ベストアクター(騾7歳/美浦・鹿戸雄一厩舎/JRA通算17戦6勝)は、2021年12月28日(火)までに競走馬登録を抹消されました(年齢は抹消時)。グランアレグリアとクロノジェネシスは北海道安平町のノーザンファーム、イベリスは北海道新冠町のノースヒルズで繁殖馬となり、ダノスマッシュは北海道日高町のブリーダーズ・スタリオン・ステーションで種牡馬、フィアーノロマーノは滋賀県甲賀市の甲賀ファームで乗馬となる予定。ベストアクターは阪神C(G II)のレース中に右第1指関節脱臼を発症して死亡しています。

★地方競馬ニュース 文・宇田川淳★

●テオレマがTCK女王盃(大井)で3度目の重賞制覇

TCK女王盃(Jpn III、1月26日、大井、1800m)は、9番手から追いつけたテオレマ(川田将雅騎手、牝6歳、父ジャスタウエイ)が内から迫るショウナンナデシコをクビ差退け、1番人気に応えました。2番人気のブランクチェックは3着、3番人気のレーヌブランシュは4着、リネンファッションは9着に敗れています。

●アメリカJCC(中山)に挑んだ船橋のキャスルトップは14着

アメリカジョッキークラブC(G II、1月23日、中山)に出走したキャスルトップ(船橋)は、逃げたものの3コーナー手前で早々と失速し、大差の最下位14着に終わっています。

●全日本新人王争覇戦(高知)はJRAの泉谷楓真騎手が優勝

1月25日に高知で2レースのポイント制で争われた全日本新人王争覇戦は、6、1着という成績で泉谷楓真騎手(栗東)が総合優勝を果たしました。小林脩斗騎手(美浦)は4、11着で第6位、秋山稔樹騎手(美浦)は11、5着で第7位でした。

●チュウウウィザードらが参戦、2月2日の川崎記念(川崎)

川崎記念(Jpn I、2月2日、川崎、2100m)は、実績最上位の一昨年の覇者チュウウウィザードが中心、以下ヴェルテックス、ミューチャリー(船橋)、昨年の優勝馬カジノフォンテン(船橋)、牝馬サルサディオオーネ(大井)、ケイティブレイブ、ヒロイックテイル、ブラックアーメット、デルマルーヴルの順に有力視されます。

※最新の開催情報は各主催者のホームページ等でご確認ください。

★海外競馬ニュース 文・秋山響★

●G1 スチュワーズC～ゴールデンシックスティの連勝止まる

1月23日に香港のシャティン競馬場で行われたG1 スチュワーズC(3歳上、芝1600m)はZ. パートン騎手が手綱を取ったワイクク(騾7歳、父ハーバーウォッチ、J. サイズ厩舎)が2番手追走から直線で抜け出して優勝。G1 香港マイル連覇を含む16連勝中だったゴールデンシックスティは遅い流れ(800m通過49秒47)の中、後方からよく追いつきましたが、 $\frac{3}{4}$ 馬身差及ばずの2着。サイレントウィットネスが持つ香港の連勝記録に並ぶことは出来ませんでした。勝ったワイククは2年前のこのレース、そして昨年2月のG1 クイーンズシルバージュビリーC(芝1400m)に続くG1・3勝目です。

●G1 センテナリースプリントC～ストロンガーが差し切る

上記G1 スチュワーズCの4レース前に行われたG1 センテナリースプリントC(3歳上、芝1200m)はC. ホー騎手を背に後方2番手でレースを進めたストロンガー(牡5歳、父ノットアシングルダウト、D. ホワイト厩舎)が、出遅れて最後方からの競馬となったG1 香港スプリントの勝ち馬スカイフィールドとの競り合いをアタマ差で制して優勝。G1 初制覇を果たしました。管理するD. ホワイト調教師(元騎手、香港首位騎手13回)もG1 初制覇です。